

大津町議会 広報編集特別委員会研修報告

氏名 中山 直之

視察研修名：全国町村議会広報研修会

研 修 先：東京都渋谷区 渋谷公会堂 (LINE CUBE SHIBUYA)

期 日：令和7年8月28日(木)～29日(金)

研修テーマ：①インタビュー記事を足して読まれる広報紙にしよう
②スマートフォンを活用した撮影技術・動画作成の基本
③議会活性化と連動した広報紙づくり

研修報告 意見・感想

町民の方々にとって、議会だよりとはどんな存在にならなければいけないのかを考えさせられた研修だった。

- ・インタビュー記事についての講演で、議会広報にインタビュー記事を載せて、町の取り組みを分かりやすく知ってもらおうという内容。
どんな記事をインタビューにすると読まれるか、大津広報との棲み分けもあるので少し悩むところだと感じた。しかし、自分たちが今まで思いつかなかったアイデアが生まれそうだと感じた。
- ・スマホで動画を撮影して、議会や議員についてもっと知ってもらおうという講演。
これまで仕事で簡単な動画を作ったり、SNSに投稿はしてきだが、正直苦手な分野だと感じていた。
しかし、公演を聴いてそのハードルが下がったように感じている。
大事なものは、いかに簡単撮影するか、いかにお金をかけないか、そして、まずはやってみる。
そして、やるなら議員全員で取り組む。それも大事なポイントだと話されていた。
議会は開かれたものだを知ってもらうために、議員が一致団結して取り組みたい。
他の自治体で取り入れている、各議員が今期の抱負を語る10秒動画も見させてもらったが、簡単に撮れそうで、そのわりに伝わることは多いと感じた。
- ・大刀洗町の広報委員長の講演では、議会広報に驚いた。
町民の方が多く写っていて、これは議会と町民の暮らしが繋がっていることを表せていると感じた。協力者を見つけるのも大変だろうと思ったが、それは長年の取り組みによりここまで実現できているのだろう。

大津町の議会だよりはこの数年で大きく変革されてきた。今回の研修で得た学びや気づきを更なる変革に役立てたい。町民の声が聞かれる議会、開かれた議会を目指して、広報委員として今後も広報委員会メンバーと協力していきたい。